

第 1 回高石市行政計画審議会 議事結果概要

開 催 日 時	平成 29 年 8 月 3 日（木） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 15 分
開 催 場 所	高石市役所 本館 2 階 正庁大会議室
出 席 者	日野委員（会長）、畑中委員、西村委員、宮崎委員
議 事	議題 1 高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略等の平成 28 年度における効果 検証について
資 料 等	次第 委員等名簿 基本目標評価シート

発言者	発言内容
事務局	それでは、定刻になったため、平成 29 年度第 1 回高石市行政計画審議会を開催する。それでは、日野会長より議事進行をお願いします。
日野会長	本日は、平成 29 年度第 1 回目の審議会ですが、議事次第のとおり、総合戦略等の中の事業の効果検証について、各委員のご意見をいただきながら進めたい。それでは、事務局より、本審議会の進め方について説明をお願いします。
事務局	本審議会では、総合戦略で定めた 4 つの基本目標に関連する平成 28 年度に実施した事業について P D C A サイクルによる効果検証を行う。 会議の進め方について、事務局から平成 28 年度の事業内容や実績を報告させていただき、委員の皆様からご意見をいただくという形で進める。 また、併せて本市が国の地方創生加速化交付金を活用して、広域連携している事業についても効果検証を行う。
日野会長	各委員、進め方は今の説明通りで問題ないか。
各委員	異議なし。
基本目標 1：子どもを産み育てやすい環境を整える	
事務局	基本目標 1 においては、10 項目のうち効果検証を行うのは 8 項目。 実施事業については、目標値の 70%を超えている事業が全体の 87.5% となっており、概ねの目標は達成しているものと考えている。 しかし、より効果的な P R の方法の検討などを積極的に行い、数値目標の達成につなげていきたいと考えている。
日野会長	今の事務局の説明に関して、子育て・保育に関する項目も多いので、まず、西村委員にご質問・ご意見などお願いしたい。
西村委員	子育てウェルカムステーションの整備について、基本目標評価シートや個別事業評価シートを見て、アブラ高石の入館者数やハグッドたかいしの利用者数は非常に良い数字になっている。数字だけでなく、にぎわっていて雰囲気も良いということを実感している。さらに、図書館も民間に運営が変わり、雰囲気も良くなっている。

	そこで、以下の３点について質問したい。 １点目は、ハグッドにはリピーターは来ているのか。それに対する努力はしているのか。２点目は、ハグッドにおける子育て相談件数、３点目は、施設内での一時預かりの実施・利用状況はどうか。
事務局	まず１点目のリピーターについては、担当から報告を受けていないので、把握していない。ただ別の視点になるが、なんば駅でＰＲポスターを見て、実際に施設を訪れ、高石市に転入したという事例は担当から聞いている。次に、ハグッド内の相談件数は、平成２９年１月２件、２月２件、３月２件、４月２件、５月４件、６月１０件、７月２７件となっている。次に、ハグッドの利用者は、平成２８年１２月から平成２９年６月までの合計で２５,２０７人。最後に一時預かりの実施・利用状況は、平成２９年１月３件、２月１０件、３月１８件、４月１５件、５月１６件、６月２１件となっている。
西村委員	子育て相談の利用者が意外と多くて、子育て世代に役立っていると思う。また、一時預かりも数字があがっている。子育てするためにどうしても一時預りを利用しないといけない場合がある。そういう意味でもハグッドは子育てに役立っていると思う。
日野会長	実績を見る限り、段々と増えているので、ＰＲによって事業が周知され、利用者が増えていると思うので良いと思う。リピーターの件は固定化にも繋がると思うので、新規、リピーターとも双方にＰＲすることが大事だと思う。
西村委員	高石のＰＲポスターを見て、転入に繋がったことと、また、他市の方が施設を訪れていただくことは良いことだと思う。
宮崎委員	ハグッドは子どもや孫と安心して一緒に過ごすことのできる良い施設だと思う。
畑中委員	私もリピーターの１人。また、まちライブラリーも開催されるということで、この施設についてポジティブに捉えている。ＫＰＩの数値と基本目標の数値が連動しているかが重要と考えるが、その中で市外在住者を含む子育て世代をターゲットとしますとあるが、市外在住のハグッド利用者を把握しているのか。

事務局	ハグッド利用者の把握については、平成 29 年 5 月からアンケートを実施しており、その回答者の割合は、5 月の市内在住者が 48%・市外在住者 52%、6 月の市内在住者が 47%・市外在住者 53%となっている。
畑中委員	利用者の半数以上が市外ということで、この方々をいかに転入に結びつけるかが課題ということで、努力を続けていただきたいと思います。
西村委員	病児保育サービスの整備ということで、達成率が 5 %と低いですが、これは設定の仕方が良くないとも考えられるが、この事業は働く者にとっては良い意味でインパクトがあり、転入促進の呼び水になると思う。利用者が少ない理由はどのように考えているのか。
事務局	病児保育事業は、施設型と訪問型がある。昨年 11 月からの開始で利用者は平成 28 年度 33 件、平成 29 年度は約 3 ヶ月で 32 件、今年度 100 件程度になると見込まれる。また、訪問型については平成 28 年度 2 件、平成 29 年度 7 件となっており、P R などによる周知もあり徐々に増えてきている。 K P I の設定については、利用が増えるということはそれだけ病気の児童が増えるということであり、行政としてはこれにどれだけ対応できるかが重要であると考えている。なので、利用者を目指しているが、受入れ可能者数に変更したいと検討しているところである。そういう意味では、すでに施設型で 700 人、訪問型で 100 人の病児を受入れる体制となっているので、目標値を達成しているとも考えられる。
西村委員	預けたい時に預けられているのかが重要である。利用する者としては、柔軟に対応できる訪問型というのは非常にありがたい。この分野の充実をお願いしたい。
日野会長	ハグッドの利用に関しては、市内在住者のメリットは何かあるのか。
事務局	利用料金について、市内在住者に対するメリットはない。
日野会長	今後、戦略としてどうするのか、転入者を増やすためには、検討が必要ではないか。

日野会長	実施していない事業についてはどう考えているのか。
事務局	多子世帯支援及び駅前保育ステーションの事業については、現在実施していない。まず、多子世帯支援は国の制度で、保育料を第2子が半額、第3子以降は無料とするものであるが、その他の部分で制度設計ができていない。今後、国の動向を見極めながら、検討して参りたい。また、駅前保育ステーションについては、ウェルカムステーションで一時預かりが行われていることもあり、実施については検討中となっている。
日野会長	事業未実施については、今期の戦略として掲載するのも含めて検討していただきたい。
畑中委員	妊産婦検診について、本当に受診したいときに受診できることが大事である。すべての妊産婦の受診を目指すとするが、どれぐらいの出生数があつて、どれぐらい足らなかったのかということを個別評価シートに付記していただきたい。
日野委員	対象者は把握できるのか。
事務局	母子手帳の申請時にクーポンを支給している。また、すべての妊産婦がすべての検診を受診しているのかを把握することも重要と考えるので、そのあたりも記載するよう検討していきたい。
日野会長	基本目標1の評価については、概ね100%達成していると評価する。特に何が悪いわけではない。しかし、目標設定や評価の仕方を見直すことも検討していただきたい。こういう評価でよろしいか。
各委員	(異議なし)
基本目標2：働きやすい環境を整える	
事務局	基本目標2については、4項目について効果検証を行う。 実施事業については、目標値の70%を超えている事業が全体の33.3%となっている。しかし、新たな事業が好調であること、また、KPI実績値が昨年とほぼ同じであるが、その基礎となる来場者数が増加しているなど、着実に進捗している。 今後は、より目標達成に結びつく周知方法を積極的に検討していきたい

	いと考えている。
日野会長	今の事務局の説明に関して、労働や経済に関する面から、まず、宮崎委員にご質問・ご意見などをいただきたい。
宮崎委員	市内の企業従業員数の動向など把握しているのか。
事務局	市内の労働状況は、把握していない。
宮崎委員	ハローワークは何をすところかと従業員に尋ねたところ、失業保険をもらうところという答えが返ってきた。今は就職を探すところではなくなっている。働きやすい環境を整えるということで、市として行えることは、企業立地の項目だと思うが、それを利用しているのは大企業だけではないか。
事務局	確かに企業立地条例を利用しているのは大企業である。
宮崎委員	この項目の基本目標は「働きやすい環境を整える」だが、総合戦略の最大の目標はこの地域に人口を増やすということだと思う。そういう意味合いからすると、本社の移転など企業を市内に誘致するなどの考え方を示さないといけないのではないか。
日野会長	おっしゃるとおり、この項目にはK P I の指標が4つしかない。総合戦略には4つの基本目標があるが、その他の目標には、9項目から10項目のK P I が設定されていることを考えると、この項目においても委員の意見も参考に新たなK P I の設定についても検討いただきたい。
畑中委員	K P I の設定は非常に難しいが、「働きやすい環境を整える」という基本目標を実現するためにK P I の設定を行っていただきたい。また、他市では、職場の隣で子どもが保育されていて、その様子も伺うことができる例もある。このような視点がないと働きやすい環境を整えて、人が増えるということに繋がらないのではないか。今ある4つのK P I については、重要だと思うが、P D C A サイクルを回していく中で、新たな気づきであるとか、適宜K P I を追加していくことも忘れないでいただきたい。

日野会長	高石で働けばこんないいことがあるということをポスターなどでPRすればいいのではないかな。
日野会長	この基本目標については、新たな事業が好調ではあるものの、十分とは言えない部分もあるのでがんばってほしい。また、新たな施策についても検討していただきたい。こういう評価でよろしいかな。
各委員	(異議なし)
基本目標3：いつまでも健幸にすごせる環境を整える	
事務局	基本目標3については、10項目のうち効果検証を行うのは8項目。実施事業については、全ての事業において目標値の70%を超えており、概ねの目標は達成しているものと考えている。 特に、健幸施策については、成果が上がっており、また、コミュニティカフェへの参加者数も非常に多く、地域における住民同士のつながりが広がっていると認識している。 今後は、引き続き健幸施策について、参加者を増加させるため、ハード面、ソフト面での充実を図ってまいりたいと考えている。
日野会長	今の事務局の説明に関して、福祉や安全に関する項目が多いので、まずは、畑中委員、ご質問・ご意見など、いかがかな。
畑中委員	まず、健幸づくり事業の充実について、浜寺公園や鴨公園で行われているウォーキングの参加者などを見ていると、健康に対する意識が徐々に高まっていると実感している。 まず、数値目標の健康寿命について、男女ともだいたい1歳ずつ伸びているが、この数値目標にとらわれて、介護認定を減らすようなことのないようお願いしたい。次に、ウォーキングの参加者数は、どのようにカウントしているのか。また、ICタグの利用率と健康寿命との関係性については修正をされたい。
事務局	ウォーキングの参加者数の把握については、参加者の自主運営となっており、参加者自らカウントしている。
畑中委員	3会場で行っているのか。

事務局	現在は4会場で行っており、それぞれの会場でカウントし、毎月1回報告いただいている。
畑中委員	4会場はどこか。
事務局	会場は、まず芦田川ジョギング広場、次に診療センター裏の健康広場、次に鴨公園芝生広場、最後に、とろしプラザで行っている。
日野会長	健幸ウォーキングは参加するのに登録が必要か。
事務局	登録は必要なく、参加できるときに会場に来ていただければよい。
日野会長	健幸ポイントは参加するのに登録が必要か。
事務局	健幸ポイントは登録が必要だが、現在は休止中である。しかし、29年度については、業者選定を行い再開する予定である。
日野会長	健幸ウォーキングに参加すれば、健幸ポイントがたまるシステムではなかったか。
事務局	そのとおりである。
事務局	I C タグの利用率と健康寿命との関係性については、近々に示す予定の平成29年度からの第2版にて修正を行う。
畑中委員	総合戦略をPDCAサイクルで修正していくことは良いことである。
宮崎委員	数値はどういう根拠で掲げられているのか。
事務局	当初の参加人数が10,000人程度であったため、健康無関心層をできるだけ少なくするため、参加者数の目標値を多く設定した。
宮崎委員	全体として個別事業の目標達成率を100%としたい気持ちは理解できるが、最終目標を達成するために個々の数値目標を定めるべきであると

	思う。
日野会長	冒頭の事務局の説明も理解できるし、目標を定めることも重要だが、前年と比べることも大事ではないか。
西村委員	自主的にウォーキングや体操を運営しているグループもあるが、これらに対して場所の確保などの支援もあってよいのではないか。
事務局	地域で自主的に健康づくりや介護予防、認知症予防など行っている。これらは介護保険法の改正により住民による地域支援事業として位置づけられ、本市としても継続して運営できるような支援について検討している。
西村委員	支援についての情報を周知していただけると非常に助かる。
日野会長	今後、高齢者をどう活かすのかが最も重要になる。 そういう意味で、8月から高石市では福祉バスが3台となり充実した。これは、外出するための手段が増えることであり、重要なことである。 あとは、これに外出するための目的ができれば、さらに高齢者を活かすことができるのではないか。そのためにも、行政が主体となって、高齢者の人材バンクを作ってほしいと思っている。
畑中委員	防犯カメラについて、平成29年度の設置予定数で平成31年度の目標値を超えてしまうので目標値の修正が必要ではないか。また、維持管理の徹底をお願いしたい。
事務局	目標値については、修正するよう検討する。維持管理については、設置したものが正常に稼働するよう徹底して参りたい。
日野会長	この基本目標については、前々年度、前年度と比べて数値が改善されているので、順調に進捗していると評価する。しかし、次年度に向け、目標値の修正などについても検討していただきたい。こういう評価でよろしいか。

各委員	(異議なし)
基本目標４：住みたくなる環境を整える	
事務局	基本目標４については、10項目のうち効果検証を行うのは9項目である。 実施事業のうち、目標値の70%を超えている事業が全体の66.67%となっている。 平成29年度以降については、達成率が低かった分野を中心として、原因の分析や課題を研究し、目標達成に向けての取り組みを鋭意行っていきたい。
日野会長	今の事務局の説明に関して、前半部分の教育に関する項目については、もう一度、西村委員からご質問・ご意見などをお願いしたい。
西村委員	まず、1点目はICT化の推進ということで、タブレットの活用が20%から56%になっており、今回は小学校20台、中学校40台導入されているが、1クラスに全員いきわたっているのか。KPIの目標値が小学校525時間・中学校1,050時間と設定されているが、1校あたりなのか1人あたりなのかがわかりにくいため、分かりやすい設定値にできないか。 次に、少人数教育の推進ということで、達成度が0%となっているのは残念だが、全国学力・学習状況調査の結果だけをみて一喜一憂するのはいかがかと思う。ここでは、児童・生徒が苦手なことについて分かったという実感を持てたかどうかということが大事であると思うので、そういう視点でKPIを設定いただければと思う。 最後に、英語教育の推進に関しては、目標値を上げているため達成率は下がったが、数値そのものもまずまず良いし、現場でもがんばっているので、おおむね順調であると思う。
事務局	タブレットの台数は、昨年の秋から1クラス40台を確保することができた。各小中学校に42台ある。今後台数についても検討していきたい。また、活用については、アンケートが学校単位で行ったため、1人あたりの時間は把握できていない。少人数教育の推進の結果が0、25、50、75、100%しかないということでKPIの設定に疑問なところもあるので、今後変更や新たな項目など検討していきたい。また、英語教育については、目標値を上げていっているため、達成率は下がってしまっ

	たが、各学校は努力を続けている。
日野会長	タブレットの件は、31 年度 700 台になっているが、個別評価シートを見ると目標値は各年度 700 台か。それともトータルで 700 台か。
事務局	トータルで 700 台である。
日野会長	学力の方だが、高石の教育の魅力や特徴は何なのか。少人数教育なら何がいいのか、ということがあれば良いと思う。学力が魅力というならやはり点数が大事になるが。ところで、英語は全員受験か。
事務局	中学校 1 年生で英検 5 級、中学校 3 年生で英検 3 級を受けている。
畑中委員	教育こそ数値にとらわれすぎてはいけないが、学力の K P I の設定については、他の委員の意見と同様、見直しについて検討していただきたい。次にホームページの閲覧数だが、延べ人数ではなくユニーク数で数えるべきと考えるが、いかがか。
事務局	現在ホームページのトップページの閲覧数は把握しているが、I P アドレスなどの把握はできていない。
日野会長	今後検討いただきたい。
宮崎委員	インターンシップの件だが、平成 27 年度も 0 で平成 28 年度も 0、前年度から数値が増えているものは評価出来る。しかし、これについてはどう考えているのか。
事務局	数値はインターンシップのみをカウントしているが、一方で大学からのボランティアなどの支援は多数受入れている。今後、インターンシップのみに限定すべきかどうかも含めて検討して参りたい。また今年度より大阪教育大学と協定を結び、その受入れも増やして参りたい。
日野会長	インターンシップのみに限定せず、今後検討いただきたい。
日野会長	他の分野に関しては、住宅に関する施策が多くある。本日、欠席の太

	田委員から、事務局の方で何か意見や質問など聞いているか。
事務局	はい、まず太田委員からお受けした意見について、お伝えする。 『住宅に関する施策の評価は、目標値の設定も高く、かつ、その目標値をすべての項目で上回っていること、以上のことから高く評価できる。』とのご意見をいただいている。 次に太田委員から空き家バンク制度に関する質問を受けているので、お伝えする。 『平成 28 年度に目標値を達成した要因は何か。』
事務局	空き家バンクは、空き家の利活用対策の一つとして、まず空き家の中古市場に出すことを目的として始めたものである。事業は、平成 27 年 9 月から開始したこともあり、制度内容の周知が行き渡らなかったことから、3 件の登録と 1 件の成約にとどまった。そこで、登録件数を増やす方策を検討した。平成 27 年度は昭和 56 年 6 月以降に建築された、いわゆる新耐震基準の住宅のみを対象としていたが、実態調査の結果、空き家の 75%以上が旧耐震の建物であったということから、平成 28 年度からは旧耐震基準でも可能に変更した。耐震性については、耐震診断・耐震改修の補助制度も利用していただける。また、空き家バンクをより使いやすく、より活用してもらうためにインセンティブとして、登録物件を成約した場合、購入、改修又は賃貸に係る費用の一部を支援する制度も新設した。さらに、これらの制度改正の周知を図るため、広報紙や H P の他、固定資産税の納付書を発送する際に制度 P R 文を同封したり、大阪府との協賛で市民向けの空き家セミナーを開催したりするなど、これらの施策を講じた結果、物件登録数や成約数が増加したものと考えている。
日野会長	他に太田委員からのご意見・ご質問などはあるか。
事務局	最後に太田委員から空き家バンク制度に関する意見をいただいているので、お伝えする。 『高石市の空き家バンク制度は、購入者、売主、さらに貸主に対しても支援するメニューがある。これらは、利用する方々にとっては非常に有り難いことである。』との意見をいただいている。 太田委員からは以上です。

日野会長	この基本目標については、目標の設定に疑問があるものも一部あるが、それ以外については順調に進捗していると評価する。しかし、次年度に向け、目標値の修正などについても検討していただきたい。こういう評価でよろしいか。
各委員	(異議なし)
日野会長	高石市まち・ひと・しごと総合戦略の平成 28 年度の全体については、おおむね順調と評価する。しかし、平成 31 年の数値目標が達成できるよう、改善するべきところは改善し、次年度に向け、目標値の修正や追加を検討していただきたい。こういう評価でよろしいか。
各委員	(異議なし)
その他：地方創生加速化交付金の交付を受けた広域連携の事業について	
事務局	国の地方創生加速化交付金を活用し、他の市町と広域連携して行った事業については 2 事業、効果検証を行うのは 3 項目である。 まずは「関西国際空港からの外国人観光客の受入体制向上のための泉州観光誘致事業」から説明させていただく。K P I である訪日外国人における泉州の認知度については若干低くなったが、着地型観光のコース形成については目標を大きく上回り、訪日外国人を含む観光客の受入体制向上のための準備が着実に進行していると考えている。 次に、「2020 年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合 新虎通り活用事業」について、説明させていただく。K P I である新虎通りの事業への来場者数（出展される地域資源や基礎自治体の情報に触れる人）については、当該事業の内容を含んだ記事が掲載された媒体の発行部数が、新聞・雑誌・フリーペーパーの合計で 2,486 万 852 部となっており、目標数を大きく上回っている。 以上のことから、2 事業については順調に進捗していると考えている。
西村委員	着地型観光が 5 コースできたとあるが高石も組み込まれているのか。
事務局	着地型観光は、旅行会社で永らく勤務をしていたスキルのある者がコースを作成している。高石では工場夜景を組み込んだコースがある。

日野会長	2市2町で同じK P I だが、各市町の戦略のK P I は戦略ごとに違う。評価としては広域連携した部分のK P I を評価すればよいのか。
事務局	各市町の戦略のK P I は、各市町で事業を行うので、それぞれ評価するが、観光DMOは広域で行うので、K P I は広域で同じものとして見てほしい。
日野会長	地方創生加速化交付金の交付を受けた広域連携の事業についても審議会での効果検証が必要ということでもいいのか。
事務局	そのとおりである。
畑中委員	広域での事業やK P I は、今後総合戦略に組み込まれるのか。
事務局	広域での事業やK P I は、高石市の総合戦略とは別物である。
日野会長	事務局より説明のあった広域連携に関する2事業については、特に現段階において問題はないと評価する。しかし、広域と各市町のK P I の関連性がわかりにくいので、難しいと思うが、できれば関連について説明できるよう検討していただきたい。こういう評価でよろしいか。
各委員	(異議なし)
事務局	本日は、長時間にわたり誠にありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、事務局にて取りまとめたうえ、日野会長と調整させていただき、委員の皆様へお示しさせていただきたい。